校内研修計画

　　　　　　　　　　　　山梨市立笛川小学校

1　学校課題

　 本校の児童は、素直な児童が多く、全体的に前向きな気持ちで学校生活を過ごしている姿が見られる。地域や家庭における学校教育への関心は高く、様々な教育活動へのかかわりからも実感することができる。しかし、一人一人の子どもたちが置かれている状況は多様であり、学校課題として対応していく必要性がある。

　 学習においては、課題に対して興味や関心をもちながら意欲的に学ぼうとする児童がいる。しかし、集中力や持続力、指示の理解、基礎・基本の定着や表現力等には個人差があり、個別の支援を必要とする児童がいる。令和６年度の国語と算数のNRTの結果から、学校全体として、国語では「読むこと」、算数では「数と計算」に課題が見られた。結果分析と日常の見取りから、基礎・基本の確実な定着や学び方を身につけさせるために、より一層の授業改善の必要があると考える。

2　研究主題

　　　「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくり」

　　　　　　　　　　　　　　　～自ら課題を見つけ、自ら解決しようとする児童の育成～

3 主題設定の理由

　 学習指導要領において、子どもの興味・関心を生かした自主的、主体的な学習が促されるよう工夫することを求めるなど、「個に応じた指導」が重視されている。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）では、「学校における授業づくりに当たっては、『個別最適な学び』と『協働的な学び』の要素が組み合わさって実現されていくことが多いと考えられる。各学校においては、教科等の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえながら、授業の中で『個別最適な学び』の成果を『協働的な学び』に生かし、更にその成果を『個別最適な学び』に還元するなど、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実し『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善につなげていくことが必要である。」と記されている。

　 また、「教育振興基本計画を踏まえた山梨県が目指す学校教育」では、自立した学習者の育成をめざし、子供主体の授業観の転換を推進し、多様な他者と協働したり、自己調整したりして学習を進めていく『子供主体の授業づくり』の授業への転換を挙げている。

　　 本校では、昨年度「個別最適な学び」と「協働的な学び」を支えるために、教師の指導・支援の

在り方やICTの活用について研究を進めてきた。研究授業や一人一実践では、探究プロセスでの授業を意識した授業展開の中で、児童は学習課題や学び方を選択したり、課題解決に向けて周囲の人とかかわったりする姿が見られた。しかしながら、適切に情報を集めたり、自分の考えとして再構築させて表現したりすることなどの課題も挙げられた。

　　 今年度は、自ら課題を見つけ、自ら解決しようとする児童の育成をめざし、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくりについてさらに研究を深めていきたい。

４　研究の具体的内容と方法

　（１）探究プロセスを使った問題解決能力を高める授業改善

　　　　・「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」「振り返り」までを意識

した学習過程で授業をすすめる。

クラウド環境・アプリを活用した授業改善の３つの柱(ＬＤＸとの関連)

・児童に本時の学習の見通しをもたせる。

　　　　・児童が学習の仕方を選択できる場面をつくる。

　　　　・本時の振り返りを行う。

（２）個別最適な学び・協働的な学びを支える環境づくり

　　　　・協働的な学びを支える学級づくりのため、WEBQU調査を行う。教職員全体で具体的

　　　　　な解決策や対応策を検討し、親和的な学級集団づくりをめざす。

　　　　・ICT端末活用のスキルの向上を図る。

　　　　・家庭学習の習慣化を図る。

５　年間研修計画

　　◎ WEBQU分析（前期・後期）

　　◎ 児童・職員のICTにかかわる実態調査

　　◎ 学校DXに関する講演会「授業のDX」「校務のDX」(８月２回：日程調整中)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 回数 | | 月 | 日 | 曜日 | 内　容 |
| 1 | | ４ | ９ | 水 | 研究の方向性　研究主題・研究内容・研究計画等について① |
| 2 | | ４ | 16 | 水 | 研究主題・研究内容・研究計画等について② |
| 5／1４（水）　ブロック交流研究会①　　DXアドバイザー西田先生招聘  「クラウド環境を活用した授業の実践例について」 | | | | | |
| ３ | | ５ | 21 | 水 | 部会研究 |
| ４ | | ５ | 28 | 水 | 前期WEBQUアンケートの結果分析（低・高ブロック） |
| ５ | | ６ | 18 | 水 | 笛川小中合同校内研　　西田先生招聘  「クラウド環境を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な  充実について」 |
| ６ | | ７ | ９ | 水 | 西田先生招聘  「クラウド環境を活用した校務のDX、小中一貫校の教職員組織の  コミュニケーションに関する活用」 |
| ７ | | ７ | 16 | 水 | 部会研究 |
| ８ | | ８ |  |  | DX研修会「授業のDX」 |
| ９ | | ８ |  |  | DX研修会「校務のDX」 |
| 10 | | ８ | 20 | 水 | 教育課程還流報告 |
| 11 | | ９ | 24 | 水 | 指導案の検討 |
| 12 | | 10 | 22 | 水 | 部会研究 |
| 13 | | 10 | 30 | 木 | 指導案検討　西田先生招聘 |
| 11／6　(木)　　ブロック交流研究会②　笛川中学校公開授業・研究会 | | | | | |
| 14 | 11 | | 12 | 水 | 指導案検討 |
| 15 | 11 | | 19 | 水 | 後期WEBQUアンケートの結果分析（低・高ブロック） |
| 16 | | 11 | 26 | 水 | 公開授業・研究会 |
| 17 | | 12 | 10 | 水 | DXアドバイザー西田先生招聘  本年度のまとめ・部会研究のまとめについて |
| 18 | | 1 | 21 | 水 | 研究の成果と課題・来年度の方向について |
| 19 | | 2 | 25 | 水 | 部会研究のまとめ・研究紀要作成（校閲・修正作業） |